

地域金融機関のDXをサポートする サービス展開に関する補足説明資料

2024年 9月 2日

キー・ポイント株式会社

株式会社ココペリ（証券コード：4167）グループ会社

日本でも、世界でも。
お客様を支える価値ある
技術を提供します。

私たちは、創るモノに対して様々な価値をつけ、**顧客・社会に貢献**し続ける会社であるために、**仕事を愉しみ、継続的な努力**を怠りません。

企業にとりまして、最上のビジネスパートナーであるために**4つの柱**を掲げ、社員一丸となって励んでまいります。

革新

柔軟な発想で、どこにもない会社に。

挑戦

自分で限界を作らず、力・知恵を出しあい、果敢に挑戦する姿勢。

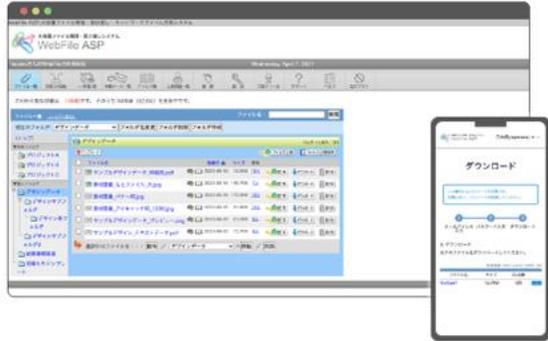
責任

責任を持った行動をとり、人の模範となる。

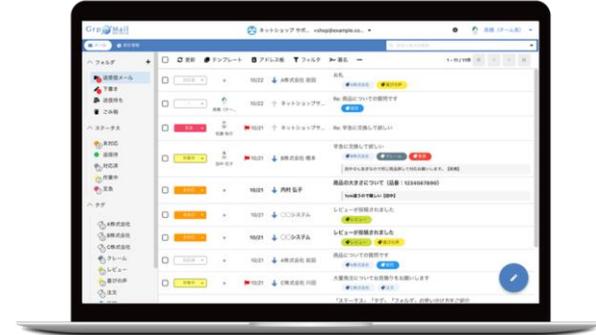
貢献

自らが率先して、行動を起こす。

業務効率化を支援するファイル共有とメール管理のソリューションを提供します

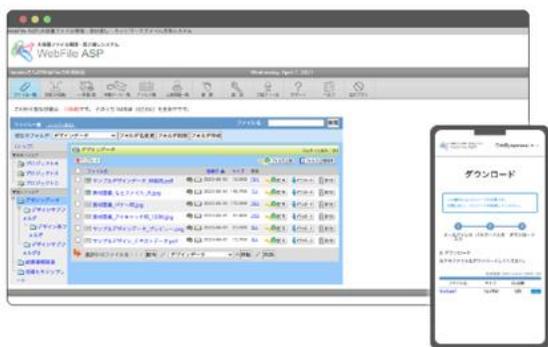


ファイルの転送も回収もまとめてできる法人向け送受信・共有システムです。



シンプルな画面で、二重対応・見落としを防ぐ、メール共有管理システムです。

ファイルの転送も回収もまとめてできる法人向け送受信・共有システムです。



ファイル送受信・共有システム

1



**PPAP*の
対策が可能**

外部とのファイル
のやり取りをDX化

2



**電子契約業務に
使用可能**

ペーパーレス化に
貢献

3



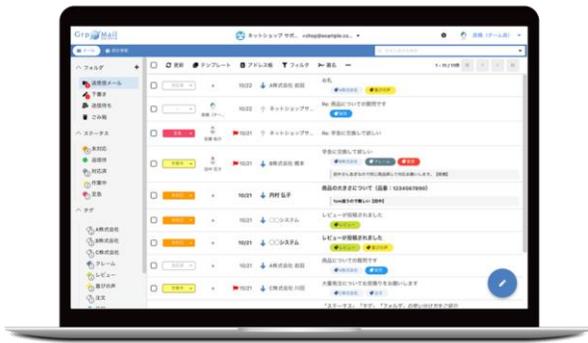
**Webアンケートを
簡単に実現**

情報収集機能で簡
単に

* [PPAP] ファイルを相手方に送る際にパスワード付きZipファイルを作成し、当該Zipファイルをメールで送付した後、パスワードもメールで送付する方式

主要提供サービス -GrpMail-

シンプルな画面で、二重対応・見落としを防ぐ、メール共有管理システムです。



GrpMail
グループメール

メール共有・管理システム

1



**1 メールアドレスを
複数人で利用可能**
複数人で対応する
ことで属人化を解
消。

2



**対応履歴を保持し
やり取りを認識**
送信・受信メールを
同時に一覧表示する
ことで、メールの時
系列を見える化。

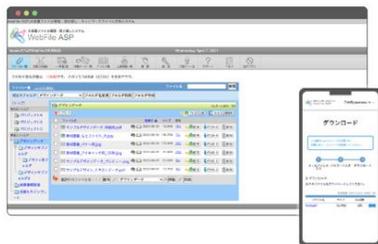
3



**相互監視で二重対応
見落としを防ぐ**
相互監視すること
で、人的ミスを防
止。

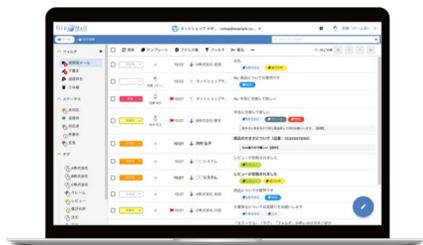
キー・ポイントのサービスをご利用いただいている企業の一部です

運用実績20年



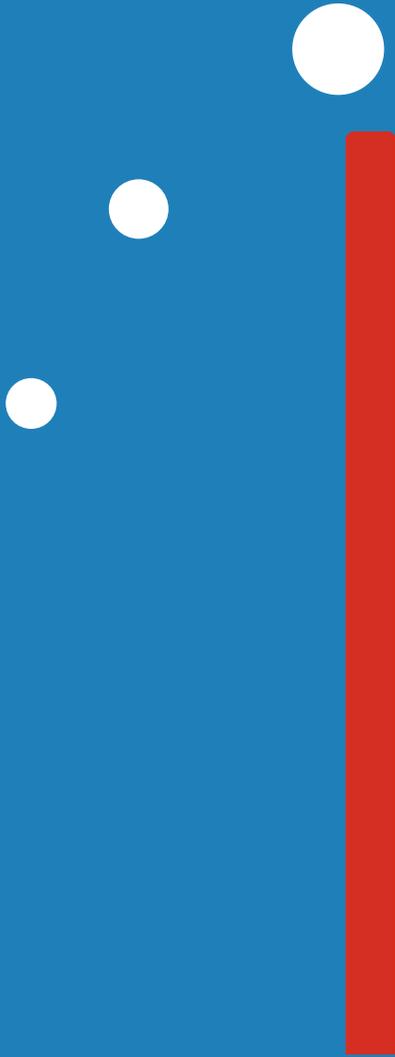
その他都道府県庁、大手証券会社、大手人材紹介会社等で導入

運用実績19年



その他大手食品会社、大手新聞業の総合調査会社等で導入

* 順不同



「WebFile」 「GrpMail」

地域金融機関への新展開戦略

地域金融機関の安全な業務環境を整備し、

情報漏洩と重要な情報の見落としが

ない世界

上記リスクの極小化により、

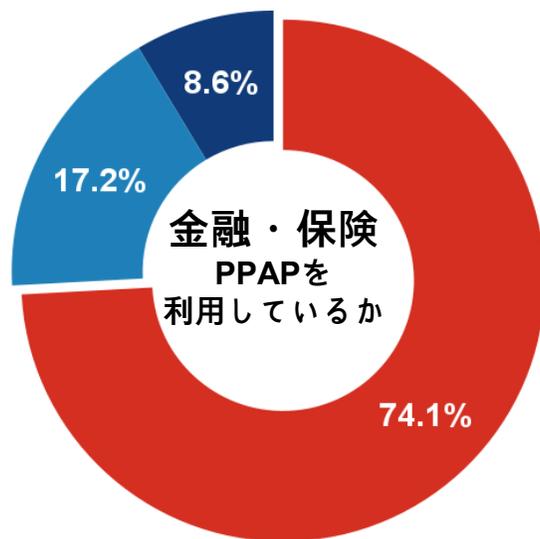
地域金融機関の**最適なリソース配分に**

寄与していきます

WebFileが解決できる課題の一つである「PPAP問題」は日本政府を初め淘汰の流れだが、特に金融機関で依然として存在しており、セキュリティリスクが高い状態



PPAPに関して



● 利用している ● どちらでもない ● 利用を禁止している

▶ 2020年11月に内閣官房のPPAP廃止

▶ 2021年1月には金融庁もPPAPを廃止

▶ 2024年の調査では

7割の金融機関が依然PPAPでの運用

(出典) 出典：JIPDEC/ITR『企業IT利活用動向調査2024』

中

「GrpMail」 外部環境について

GrpMailが解決できるメール環境の整備については、金融庁より地域金融機関のメール環境に関しての発表が多く存在しており、業界内の温度感が高い認識

地域金融機関のメールアドレス環境に関して



▶ 2020年の金融庁の調査によると**地域金融機関の渉外担当者**

個人用のメールアドレス支給は1割に留まる

▶ 金融庁の監督指針内では**業務継続及び生産性向上の観点か**

ら電子メール等の情報通信基盤の整備が不可欠となる旨が

定められている

(出典) 地域金融機関、個人用メアド支給1割、金融庁は環境整備促す | ニッキンONLINE
中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針 (令和6年5月18日適用) | 金融庁

地域金融機関の課題とその解決策

地域金融機関での「WebFile」の活用検討例



1

【西日本地方第二地銀A様】 顧客へのファイルの送付をPPAPで行っている



URLでのファイル送付機能でPPAP対策が完了

2

【中国地方第二地銀B様】 紙面の契約書をPDFとの二重管理を行っている



電子契約機能でペーパーレス化 クリック完結で業務効率改善

3

【近畿地方地銀グループC様】 紙でのアンケート収集に手間がかかる



オンラインでのアンケート機能で解決

地域金融機関の課題とその解決策

地域金融機関での「GrpMail」の活用検討例



1



【西日本地方第二地銀A様】共有メールアドレスを活かせていない

メールアドレス共有機能で解決 複数人対応の運用が簡単に

→WebFileを組み合わせ、PPAPも同時に解決

2



【中部地方信用金庫C様】他職員の顧客とのメールのやり取りが分からずメールの対応ミスがある

やりとり機能で人的ミスを低減 対応漏れや二重対応の防止

3



【東日本地方第二地銀グループD様】コンサルティングスキームが煩雑になっている

メール承認機能で解決 顧客のメールをD社が作成 顧客が承認で送信

地域金融機関、地域中小企業のDXを目的として、キー・ポイントのソリューション展開を進めていく

展開

1

ココペリとのシナジー効果を発揮し、**全国の地域金融機関へスピーディーにソリューションを展開する。**

2025/3月期

進化

2

キーポイントの開発力を活かし、全国の地域金融機関を伴走支援する事で**ソリューションを更に進化させていく。**

2026/3月期

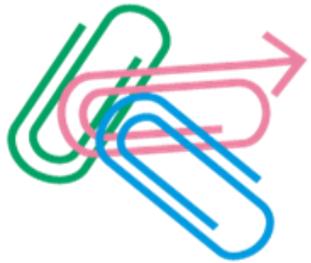
業界基準へ

3

地域金融機関及び中小企業にも広く展開することで、ファイル転送、メール管理サービスの領域での**業界基準を目指す。**

2027/3月期

2024年下期以降 地域金融機関へサービス展開予定



WebFile

Grp  Mail
グループメール

私たちキー・ポイントは、**港町神戸**から日本中、そして世界中で普遍的にご利用いただけるサービスをお届けする、常に**お客様の最高のビジネスパートナー**であり続けたいと考えています。

会社概要

商号	キー・ポイント株式会社
本社	〒650-0023 神戸市中央区栄町通1-2-7 大同生命神戸ビル 8F
電話番号	078-335-1527
設立	1996年11月25日
資本金	2,000万円
代表者	代表取締役 大西 正晃
事業内容	SaaS/ASPサービス OEMソフトウェア Webシステム開発 スマートフォン・タブレットアプリ開発 サーバ導入・管理・運用・保守サービス Webデザイン
グループ会社	株式会社ココペリ 株式会社ココペリ経営サポート

沿革

- 1996年 11月 ● 兵庫県西宮市において設立
- 2003年 8月 ● WebFile サービス開始
- 2004年 9月 ● GrpMail サービス開始
- 2005年 3月 ● 大阪市のデータセンターにて、サーバの運用を開始
- 2006年 5月 ● 神戸支社開設
- 2006年 11月 ● 神戸支社を拡張し、本社を神戸市に移転
- 2008年 6月 ● 多守Plus サービス開始
- 2008年 6月 ● 資本金を2,000万円に増資
- 2009年 2月 ● プライバシーマーク取得
- 2010年 11月 ● 神戸市のデータセンターにて、サーバの運用を開始
- 2016年 5月 ● 本社を西元町から本町に移転
- 2017年 7月 ● Watasoon サービス開始
- 2023年 5月 ● 多守Plus サービス終了
- 2023年 11月 ● 株式会社ココペリへの株式売却により、同社の完全子会社となる

- 本資料に記載された内容は、現時点での一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通過為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。